

平成30年度

## 学校教育基本方針

京都市立上高野小学校

### 学校教育目標

「生き生きと活動し、心身をきたえ、自ら学ぶ子の育成」  
～しなやかな学び・のびやかな活動～

#### 『目ざす子ども像』

- ・か…考えて行動する子
- ・み…みんなと仲良くする子
- ・た…大切なことを聞き取り、はきはき話す子
- ・か…体や心をきたえる子
- ・の…野を愛し、ふるさとを大切にする子

#### 『目ざす教職員像』

- ・常に人権を意識した教職員
- ・子どもの実態を的確に把握し、個に応じた関わりができる教職員
- ・子どもの将来展望を見つめ、一人一人に届く授業の創造ができる教職員
- ・保護者・地域等との連携を深め、共に子どもを育むことができる教職員

#### 『目ざす学校像』

- ・一人ひとりが認められ、安心してすごせる学校
- ・自分の力を発揮でき、達成感がもてる学校
- ・共に高まり合える集団の中で、充実感を持ってすごせる学校

～子どもも大人（教職員）もが『明日も来たいな、と思える学校』に～

## 学校経営方針

### 【指導の重点】「自ら学びに向かう力と、自他を大切にする態度の育成」

#### 「確かな学力」の育成（めあてと評価を明確にした学習指導の充実）

- ・自ら学びに向かう力を育む
  - 「基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を徹底的に追求」
  - 「外国語(英語)活動で培ったコミュニケーション能力の定着」
  - 「学びのめあてを明確にした授業の創造」
  - 「自らの専門性を生かした個性ある授業の創造」
  - 「個に応じた補充学習や発展学習の取組」
  - 「指導と評価の一体化、説明責任を果たせる評価」
- ・体験活動・問題解決学習の推進
  - 「学校と地域の教育環境（人・場所）の活用」
  - 「児童の実態を考慮した課題設定と、評価の工夫」
  - 「公共の精神に基づく態度を育成する」
- ・小中連携・小小連携の強化
  - 「修学院中学校区各小学校および修学院中学校との交流・連携」
  - 「9年間の学びを意識した指導目標の共有」

#### 「豊かな心」の育成（学校生活を通してつける心の力）

##### ◎自ら学ぶ人権教育の充実

- ・人権を尊重する態度の日常化
  - 「子どもの目線に立ち、よりよい人間関係を培う学級経営」
  - 「いじめを絶対に許さない教育環境の構築」
  - 「公共の精神の涵養」
- ・総合育成支援教育の取組の充実
  - 「LD等特別な配慮を必要とする児童の理解と支援の推進」
  - 「LD等通級教室との連携」
  - 「個別の指導計画の作成と積極的な活用」
  - 「育成学級在籍児童との意図ある交流」
- ・主体的に進路を開いていく意欲や態度の基礎を培う指導
  - 「伝統と文化を意識し、京都で学ぶアドバンテージを生かした授業の創造」
  - 「スクーデントシティー学習等、生き方探究教育の取組」

##### ◎自ら気づく道徳教育の充実

- ・多様な価値観を認め合える、道徳教育の充実
- ・児童が主体的に考えることができる、創意工夫のある活動の場面設定と行動化

## ◎生徒指導の充実

- 的確な児童の実態把握と指導内容・方法、指導体制の工夫と改善  
「児童の置かれている背景の把握と、個に寄りそった児童理解」  
「きめ細かい家庭訪問の充実」
- 発達段階に応じた規範意識と規律の育成
- 徹底的な児童理解に立脚した生徒指導
- 個々の児童が「居場所」を感じることができる学級経営
- 組織としての報・連・相の徹底と指導体制の構築

## 「健やかな体」の育成（健康と安全を意識して過ごす力）

### ◎健康教育・安全教育の充実 <子どもの命を守りきる>

- 課題を明確化し、組織的なアプローチに取り組む  
「プール学習・持久走等の徹底した安全確保」  
「交通安全指導、自らの身を守る防災教育、常に危機意識を持った指導」  
「フッ化物洗口、食に関する指導、部活動、安全指導等の充実」

## 「地域との連携・協同」～上高野で学ぶアドバンテージ～

### ◎地域学習の充実

- 地域の文化・伝統を活用した教育・・・教師自らが地域に学ぶ  
「地域の自然、文化、伝統を大切にする取組」  
「地域探検・『上高野こども風土記』の授業での活用」  
「地域の一員としての自覚や所属感を持てる指導」  
「伝統行事への積極的な参加」
- 学校農地・地域の自然環境の活用  
「農作物を育てていることの日常的な意識付け」  
「生命の大切さを自覚した取組」
- 自然環境（川・用水路の歴史等）を積極的に活用
- 収穫するだけではなく、外部機関とも連携した食育との連携・・・『農育』

平成30年度 一京都市の目指す子ども像

## 「伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を切り拓く子ども」

—3つの姿—

- 京都が育んできた伝統と文化に立脚し、広い視野と豊かな感性を持ち、よりよい人生や社会を創造する子ども
- 学校教育をはじめ様々な学びを生かし、社会的・職業的自立を果たす子ども
- 多様な他者と共に生き、学び合い、人権文化の担い手となる子ども

平成30年度 上高野小学校 学校教育目標

## 「生き生きと活動し、心身をきたえ、自ら学ぶ子の育成」

～しなやかな学び、のびやかな活動～

### 『目ざす子ども像』

- ・か…考えて行動する子
- ・み…みんなと仲良くする子
- ・た…大切なことを聞き取り  
      はきはき話す子
- ・か…体や心をきたえる子
- ・の…野を愛し  
      ふるさとを大切にする子

### 『目ざす学校像』

- ・一人ひとりが認められ、  
      安心してすごせる学校
- ・自分の力を発揮でき、  
      達成感がもてる学校
- ・共に高まり合える集団の中で、  
      充実感を持ってすごせる学校

平成30年度 指導の重点

## 「自ら学びに向かう力と、       自他を大切にする態度の育成」